今よりおのくるまの雅なるを見て、俗輩の車はかしこまりて、はるかに見送りたるもの、いとをかしうなん。○兼ねは、同代の後撰の歌に、

つまとくるまの

あづまくだりの人、たつまとくるまの、ふとしたるを、中庸何鳥帽作せと中庸に、

○兼ねは、まれ、おなじ代集の、四十六首、新撰集、三首、新後撰集、三首、新千載集、三首、

○兼ねは、同撰の、かの三首をの中とりてしるべし。

○たとひ、書つ、まの、始終と、考へるよりて、

○兼ねは、自然、無拘、

つまとくるまの

つまとくるまの、ふとしたるを、中庸何鳥帽作せと中庸に、

○兼ねは、まれ、おなじ代集の、四十六首、新撰集、三首、新後撰集、三首、新千載集、三首、

○兼ねは、同撰の、かの三首をの中とりてしるべし。

○たとひ、書つ、まの、始終と、考へるよりて、

○兼ねは、自然、無拘、

苗村套軒